



## 市政同志会 儀賀 久明 議員

①市内中小企業育成の施策はこれでもいいのか

**質問①** 鈴鹿市の入札制度は国県も含め、いい機能を果たしていない。例えば、入札に参加業者が全員最低制限価格の金額で応札され、抽選で業者決定しているがこれでもいいのか。最低入札価格で応札し落札した金額が最低必要経費を賄える金額か確認してほしい。赤字で先細りに建設業界を追い込んでいる様に思われるので、最低価格の見直しと育成策及び勇気ある撤退業者への補助は考えられないか。大企業の市内誘致は良策だが、その企業が必要とする物

品の地産地消の誘導策を行政が働きかけて市内企業育成に努めるべきと思うが如何か。

**答弁①** 本市の入札制度は、地域要件や受注業者を限定するなど全て条件付き一般競争入札で、市内業者への発注金額帯拡大や入札参加には業者登録が必要など地元業者の保護・育成に配慮している。極端な低価格での落札を避けるため、最低制限価格や低入札価格調査基準を設定したり、透明性を高めるため、予定価格と最低制限価格を事前公表している。

「最低制限価格制度」は、ダンピング防止、工事品質の確保のため必要な制度であり多くの自治体も導入している。今後は新しい入札制度の導入と現制度等の見直しを進め、「能力ある業者が残れる」「やる気のある業者が落札できる」入札制度への改善に努める。



## 市政同志会 竹口 眞睦 議員

①NTT西日本鈴鹿研修センタ跡地利用  
転換計画  
(1)NTT跡地の計画推進の状況

**質問①** 鈴鹿研修センタ跡地の現在の状況と鈴鹿医療科学大学薬学部設置準備の進捗状況を尋ねる。

**答弁①** 跡地の総敷地面積336,000㎡を対象に転換計画が平成16年3月に策定された。大学は一部敷地面積8,500㎡を使用し事業予算は67億5,000万円。

**質問②** 薬学部のスケジュールと具体的な活動状況。

**答弁②** 新設予定の薬学部は定員100名の6年制で平成20年の開設を目指している。

**質問③** 大学設置と今回の薬学部設置への支援は

**答弁③** 薬学部設置は市の活性化につなげるための地域への影響も大きく、非常に有益と考えられる。県のメディカルバレー構想の推進にも大きな役割を果たす。跡地活用の核施設として位置付け、財政支援も県と調整して支援していきたい。

**質問④** NTT跡地での公共施設整備について

**答弁④** 転換計画が平成16年3月に策定されている。同大学薬学部を中核として、北側を防災対策に活用する防災公園と地元中小企業の新規事業展開に向けた新産業支援ゾーンを整備し、南側を研究施設やインキュベータスペース等の新産業展開ゾーンと運動療法施設や健康増進センターに活用する健康・福祉ゾーンが計画されている。その様な考えの中で、桜並木や歴史的な資産も視野に入れていきたい。



## 無所属 板倉 操 議員

①地域のスポーツ振興について  
②認可外保育園への支援の充実について

**質問①** 地域のスポーツ大会のために、鈴鹿川河川緑地の運動施設を使用する場合、競争率が高く地域の計画通りにいかない事が多い。地域コミュニティ作りの一貫としてのスポーツの役割を考える時、多機能に利用できる運動施設がもっと必要なのではないか。また、地域のスポーツ振興を進めるといふ方針をどのように実現するのか。

**答弁①** 施設は充分とは言えず、河川緑地遊休地利

用の運動広場の新設も前倒しはできない状況である。スポーツ振興を進めるために、スポーツにかかわる地域の方の意見も聞き計画を策定する。施設の件も様々な意見を聞く予定をしている。

**質問②** 30年から50年と長い間、0才児保育や延長保育のニーズに応え、困難な場所で保育を支えてきた認可外保育園をどのように評価しているか。また現場の要求である「市制度の運営費補助の増額」「休日保育、夜間保育への補助」「園児の健康診断費用の支給」の3点についての市の考え方はどうか。

**答弁②** 時代を先取りし利用者ニーズに対応し、長い間、認可外保育園の役目を補っていただいていたことに敬意を表している。要求については前進できる方向で検討していく。